公民館講座・市民教養大学

～第２期・受講生を募集します～

中央公民館では、平成12年度第2期公民館講座・市民教養大学を開催します（下表参照）。

この公民館講座等は、知識の向上や技術の習得ができることから好評を得ています。

今回も幅広い分野から8科目を用意しました。みなさんの趣向にあった講座を選びご応募ください。

▽対象　市内在住・在勤・在学の方

▽受講料　無料。ただし、教材費などの費用は自己負担で、それぞれの講座の初回に納入

▽申し込み方法　往復はがきに希望する科目番号・科目名・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を必ず記入のうえ、往復はがき1枚につき1科目で、中央公民館（〒243―0434上郷476―2）へ

▽申込期限　8月21日（月）必着

▽そのほか　定員を超えた場合には抽選。結果は、返信はがきで通知します

▽問い合わせ　中央公民館（☎232・3231）。

講座	内容	期日	曜日	回数	時間	講師名	定員	負担金	備考
公民館講座	①郷土海老名を知ろうシリーズⅡ「海老名の中世を歩く」（市民企画講座）	9/9 9/16 9/30 10/7 10/21 11/4 11/11	土	7回	午前10時～正午	元県立大原高校校長 茂田　孝	60人	なし	9/30・10/7 10/21・11/4は、史跡めぐりのため、午前10時～午後3時。現地集合
	②俳句入門～初心者向け・俳句の基本を学ぶ～	9/11 9/18 10/2 10/9 10/23 10/30	月	6回	午後1時30分～3時30分	俳句結社「海原」同人会長 池田　武治 海老名市俳句協会会長 伊波　春江	30人	なし	
	③パソコン初級・前期～キータッチから文書作成まで～	9/4(月) 9/11(月) 9/13(水) 9/18(月) 9/20(水)		各5回	午前9時30分～11時30分	海老名市教育センター職員	各20人	教材費として200円初回に納入	内容は、前期・後期同じです。
	④パソコン初級・後期～キータッチから文書作成まで～	10/23(月) 10/31(火) 11/8(水) 11/14(火) 11/16(木)							
	⑤編み物教室～かぎ針でやさしく編めるベスト～	9/8 9/29 10/13 10/27 11/24 12/8	金	6回	午後1時30分～3時30分	文部省認定編物検定協会審査委員 大森　博美 佐藤　郁子	20人	教材費として2,300円初回に納入	
	⑥フラメンコ教室～背すじを伸ばしてリフレッシュ～	10/25 11/1 11/8 11/15 11/22 11/29	水	6回	午前10時～正午	フラメンコ教師 石田　眞貴子	20人	なし	
	⑦ビールづくり～自分のビール&カップをつくりませんか～	11/11 11/18 11/25 12/9	土	4回	午前10時～正午	陶芸家 江藤　修 ビアインストラクター&ビアテイスター 森　和弥	25人	教材費として2,700円初回に納入	カップ・おつまみ皿づくり・1回 ビールづくり・3回
市民教養大学	⑧バルカンの民族主義～旧ユーゴスラビアを中心に～	9/7 9/14 9/21 9/28 10/5 10/26 11/16 11/23	木	8回	午後1時30分～3時30分	ユーゴスラビア文学翻訳家 田中　一生 フリー・ジャーナリスト 菊島　和子 バルカン中世史研究者 唐沢　晃一	50人	教材費として750円初回に納入	

会場は、中央公民館。ただし、③・④パソコン初級・前期、後期は、教育センター（図書館３階）・⑥フラメンコ教室は、海老名運動公園多目的室が、それぞれ会場となります。

市民教養大学講座パネル展を開催

市民教養大学講座「バルカンの民族主義」の最終日に、パネル展を開催します。講座の受講生以外の方も入場できますので、ぜひご来場ください。

▷内容　旧ユーゴスラビア崩壊と多民族社会の市民生活を写真と解説で紹介　▷日時　11月23日（祝）午前10時～午後４時30分　▷会場　中央公民館３階会議室・入場自由

思いつくままに

隣のおばさん

ＮＨＫの朝のテレビドラマ「私の青空」での一コマを紹介しましょう。このテレビドラマは、以前からよく見ており、講演や講座などの場でひとつの例として取り上げ、話をしてきました。さて、七月八日（土）に放映された一コマです。

隣のおばさんが、「何で、命のあるものをむやみに殺すんだ!!生きているものを可愛がらないと地獄に落ちるぞ。わかったら墓でも作れ!!」とどなっているのだ。どなられているのは数人の子どもたちである。都会育ちで事情のあるひとり親の少年が、東北の漁村の母親の実家に里帰りしており、土地っ子たちにカニ捕りに連れて行ってもらった時の話である。

カニを受け取ろうとした都会育ちの少年は怖くて手放したために、カニは死んでしまったのだ。どなられた都会育ちの少年は、なぜ他人である隣のおばさんから、どなられたのかわからない。土地っ子たちは、ごく自然に受け入れているのに。

思うに、今の日本の子どもの多くは、近所の大人から叱られることがないのだ。昔は、ごく当たり前のことでした。「わが子も、他人の子も同じ」という考えが、地域社会を作っていたのです。親にしても、隣のおじさん、おばさんにしても、「見て見ないふりをする」という大人の責任の有無が問題だと思います。それだけに、テレビではたいへんさわやかな印象を、隣のおばさんから受けました。

海老名市長　亀井　英一

えびなテレビセミナー

〈いま、テレビ時代におもうこと〉

「紅白歌合戦」にかかわって

今年は放送開始から75周年（ラジオ時代から）。混乱した昭和史の中で庶民生活に喜びと潤いを与えてきた「紅白歌合戦」の歴史、また今の娯楽番組の現状や未来についてなどをテレビの現場に携わっている方々からお話しを伺います。

▽開催日時・講師　①9月13日（水）＝ＮＨＫ番組制作局　Ｅディレクター・島田源領氏　②9月27日（水）③10月4日（水）＝放送作家・井上頌一氏　④10月12日（木）＝ＮＨＫアナウンサー・宮本隆治氏（全4回）午後2時～4時　▽会場　中央公民館・文化会館小ホール　▽定員　80人（応募者多数の場合は抽選。結果は、返信はがきで通知します）

▽受講料　無料　▽申し込み方法　往復はがきにテレビセミナー希望・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を必ず記入のうえ、中央公民館（〒243―0434　上郷476―2）へ。8月21日（月）必着　▽問い合わせ　同館（☎232・3231）。

つくってあそぼう夏のこどもまつり

青少年会館では、夏休みを利用して「つくってあそぼう夏のこどもまつり」を開催します。いつも「つくってあそぼう」に参加している人も、参加していない人も、ぜひこの機会に工作にチャレンジしてみませんか？

▽日時　8月29日（火）午前9時30分～午後3時　▽場所　青少年会館　▽内容　おはなしの世界をつくってあそぼう（さるかに合戦）　▽募集定員　市内在住の小学生50人　▽参加費　無料　▽持ち物　弁当、水筒、はさみ、おてふき　▽申し込み方法　8月1日から電話または直接青少年会館へ（先着順）。

▽問い合わせ　同会館（☎231・9787）。

海老名むかしばなし

次に有馬医者についてであるが、江戸中期社家に柳下玄琢、中野に落合成郁・落合玄生という医師がすでにおられたというから、医者輩出の風土はこのころから培われていたのかも知れない。

明治大正ごろの医師は、中野に壁島金司・壁島為造の兄弟、社家に岡村源造・岡村昌治の養父子と柳下順次郎、今里では中野徳寧、門沢橋で小泉梅園の各氏を挙げることができる。その分布を見るに、海老名教員が中新田を別としてその殆どが東部台地にあるのに対し、有馬医者はより鮮明に相模川沿いの低地に偏在している。偶然性か、まことに両極端を示しているのもおもしろい現象である。旧海老名地域に医師が一人もおらなかったわけではなく、大谷に高崎輔義、上今泉に桜井慶山の両氏がおられた。同一年度に於ける医師一人に対する人口比の算定は困難であるが、人口が少ない有馬地域に逆に医師が多いことから、常識的に考えてもその差に大きな開きがあったことは間違いない。

さて、個々の医師の消息であるが、壁島金司氏は明治五年生まれで同地で医院を開業、高座郡医師会副会長や村議も勤められた。弟の為造氏は明治十四年一月生まれ、同三十三年に東京医学専門学校を十九歳で卒業。日露戦争の際海軍軍医候補生に応募し合格、少尉として病院船や舞鶴海軍病院に勤務し、少将で退官。岡村源造氏は、明治初年創立で藤沢町（当時）羽鳥にある耕余塾という高等教育級の塾で学ばれたらしい。塾長は、小笠原東陽（号は半漁）という大漢学者であった。明治二十二年四月付の「故半漁先生建碑資金簿」に「金壱円、岡村源造」とある。氏も誕生地社家で医院を開業。養子の昌治氏は千葉医学専門学校の出身で、海老名村（当時）望地に医院を建て開業しておられた。容姿端正、優しい診察ぶりで頗る人気が高かった。柳下順次郎氏については、明治十五年五月十日付の診断書や、同三十五年次の残された文書によって、その開業期間のおおよその察しがつく。中野徳寧氏は外科医で、「今里の中野さん」と多くの人に親しまれ、評判がよかった。小泉梅園氏は一番古い方のようであるが、詳しいことはわからない。

明治大正のころは、人力車による医師の往診は日常茶飯事であった。人命を預かる職業上昼夜健闘してくだされた以上の方々に、深く感謝の意を捧げたい。

（池田　武治）

壁島金司氏

電話で海老名の昔話が聞けます

7／5～8／4　第251話　二神将の腕

8／5～9／5　第252話　霊が呼ぶ話

☎233・3838